

生存率アップの(鍵)は早期発見!

心臓&脳画像検診で 突然の病気に備えよう



健康への高い意識を持つ日本人の多くが、毎年、健康診断を受けています。
その中に、心臓&脳ドックを取り入れてみませんか。
もしもの危険をあらかじめ防ぎ、健康で輝く人生を過ごしましょう。

さつきまで元気だった人が
突然、心臓発作に

心臓発作(主に心筋梗塞)が原因で死亡する人のうち、50〜64%の方には前ぶれがまったくありません。つまり最初の発作が、最後の発作になってしまうということ。

でも突然、病気になったわけではありません。実は、体の中で病気が進行していることに、本人が気づいていなかったケースがほとんどなのです。

日本の治療技術は、世界的に高いレベルにあります。もし発作を起こしても、すぐに病院で治療を受ければ、90%以上の確率で助かるといわれています。

悲しい「突然死」は、早期発見・早期治療で防げるのです。

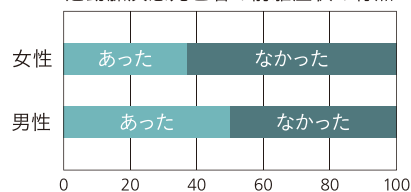
最新の3D画像検診で
病気の芽を早期発見

早期発見のためには、心臓ドックの受診がかかせません。

「心臓画像クリニック飯田橋」では、最先端のMRIを使用した画像診断を行っています。立体的な3D画像をもとにした説明はわかりやすく、心臓発作以外の体の不調が発見されるケースもあるそう。

とくに、心臓の病気と脳疾患は密接に関係していますから、心臓ドックと脳ドックをセットで受診するとより安心です。

冠動脈疾患死亡者の前駆症状の有無



体験者の声

脳と心臓の両方を検査しました。クリニックはきれいで、検査室ではマイクを通して放射線技師さんと会話できるので安心でした。先生の説明もていねいで、自分の状態がとてもよくわかりました。(40代・男性) / 心臓ドックを受診しました。女性の検査技師さんが検査を行ってくれたので、安心して検査を受けられました。(40代・女性)

最新・最良の診断によって、ひとりでも多くの患者さまに「安心と健康」をお届けしたいと思っています。



病院長 寺島 正浩 先生

米国スタンフォード大学にて7年半に及ぶ心臓画像診断に関する研究に従事。医学博士、循環器専門医、米国心臓病学会特別正会員

「心臓画像クリニック飯田橋」では、やさしくわかりやすい説明を行い、疑問や不安を質問しやすい雰囲気づくりを心がけているそうです。「わからないままでは、患者さまに不安が残りますから」と寺島院長は言います。

診断結果はプリントだけでなく、デジタルデータとしてももらえます。自宅に戻ってから見直したり、ご家族への説明にも利用できたりと便利です。

診断結果をていねいに説明
データは自宅で確認も

検診の内容・診断について
もっと知りたい人は
ウェブサイトをチェック

心臓画像クリニック飯田橋
HYPERLINK

<http://www.cviclinic.com/>

心臓、脳、循環器内科に特化した診療クリニック。造影剤を使用しないMRI検査やCTスキャンなど最新機器を用い、3D画像をつかった分かりやすい診断・解説を行っています。